



お話を伺ったのは
こちらの皆さま



NTTアドバンステクノロジ株式会社様



都筑 純 氏
Value Co-creation事業本部
DXイノベーションビジネスユニット
ビジネスユニット長



成田 安正 氏
Value Co-creation事業本部
DXイノベーションビジネスユニット
主査



成田氏が語る
『デレワーク運用の悩みを
『自らのDX』ノウハウで
解決! Nutanix成功事例』
オンデマンド動画公開中!

『自らのDX』の苦労や成功体験を基に、お客様の伴走者として 自社RPA製品WinActorとNutanixのソリューションをご提供

組織概要

NTTアドバンステクノロジ株式会社(以下: NTT-AT)の本チームでは、デジタルトランスフォーメーション: DXへの取り組みを通じて、お客様の働き方をデジタル化していく上でのノウハウや、技術的な支援を提供している。自社でのDX経験を活かし、お客様の検討の背景や要望を伺いながら、実現の方向性や解決策と一緒に見出してきた。検討初期段階からDX推進に向けたNutanixソリューション活用の具体策を、実例と共に提案している。

事例のご紹介

1: DX推進でWinActorをご活用のメーカー様

現場フレンドリーで小規模スタート可能なWinActorは水平展開も容易である。しかし、採用範囲を拡大していく過程では、稼働PCの台数増加によって情報システム部門の負荷が上がり、全社規模の展開で課題が生じていた。RPAを動かす環境を統一して、安定化させたいというニーズもあり、自社でも成功したNutanix基盤の展開方法をご提案し、ご採用いただいた。導入後システム部門の運用負荷軽減とRPA全社展開に向けた拡大の両立を実現した。

2: コロナ後にテレワークを拡大されたお客様

当初は、社員が自宅から社内の自席PCへリモート接続していたが、PCハングアップやトラブルの場合に出社が必要というジレンマがあり、テレワークの課題となっていた。社員の出社が減る事により、座席の有効活用という新たな課題も生じており、また、一人の社員が複数PCを持つ場合など、集約が困難な状況となっていた。

お客様からいただいたご相談に対し、Nutanixによる省スペース省エネルギーなRPA事例をご紹介。Nutanix導入における環境構築、運用担当者向けの事前トレーニングやマニュアル整備など、万全なフォローアップ体制を評価いただき導入を実現した。導入後もNTT-ATならではの知見を活かし、端末の増減対応など、サポートを継続。現場からも大変好評で他部署への展開を進めている。

〈Nutanix日本パートナー探報〉とは、ニュータニックス・ジャパンのパートナーの皆さまの特徴や事例をご紹介するシリーズ記事。Nutanix導入時にぜひご参考ください。現在、日本全国のパートナー様をご紹介すべく、鋭意取材並びに記事作成中です。取材をご希望のパートナー様は、弊社担当にお問い合わせください。

NUTANIX™

※取材時点の情報です。最新情報は弊社・パートナー様へお問い合わせください。

©2022 Nutanix, Inc. All Rights Reserved

Nutanixへの取り組み

NTT-ATでは、2018年頃よりDX推進を加速しており、社内システムも短期間でリニューアル。RPAを活用した業務自動化等にも取り組み、社員の生産性向上を実現。企業全体の効率化を推進するために、RPAの活用において、物理PC端末の運用方法等、試行を繰り返し、NutanixとRPAを組み合わせたソリューションの採用へと至る。オンプレミスのNutanix上でRPAを運用する端末を仮想化することによりスペースを集約。現在もトラブルなく継続運用している。また検証の結果、クラウド上で運用するよりもコストや初期構築・導入後の運用効率等の点で優位となることが実証された。国内導入数No.1の自社RPA製品であるWinActorやNutanixを組み合わせたソリューションを知見や効果と共にお客様へ提案している。

WinActor:<https://winactor.biz/>

鉄人(スーパーSE)のご紹介

成田 安正 氏

十年以上通信系や企業系のシステム更改や導入支援に携わり、現在はNutanixを担当。国家資格CISSPやNutanixの各種資格を保有しており、技術に強いフロント窓口としてお客様対応を担当。自身の経験・知見と合わせた支援は、お客様からの信頼も厚い。

プライベートでは友人と、リアル脱出ゲームを楽しんでいる。最近のヒットは「謎だらけの火星からの脱出」。火星に閉じ込められてロケットを完成させて脱出するのだが、紙を物理的に組み立てるなどのアクションもあり、他の参加者との協力プレイが必須なので、一緒に考えつつ、役割分担しつつ、グループワークでの「脱出」を楽しんでいる。

メッセージ

NTT-ATでは、『自らのDX』推進において多くの苦難を乗り越えて得た失敗や成功の体験を、より多くのお客様と共有し、将来の目指す姿へ共に進むことを信条としております。Nutanix導入における具体的な試行錯誤の知見・ノウハウを元に、お客様と一緒に、DX推進していく良き伴走者として、情報システムご担当の皆様と、働き方改革やDXを共創していきたいと考えております。